

各都道府県高体連バレーボール専門部 委員長 様

各都道府県高体連バレーボール専門部 強化指導普及委員長 様

(公財) 全国高体連バレーボール専門部  
部長 田野 敏彦  
同 強化指導普及委員会  
委員長 大塚 正則

## (公財) 全国高体連バレーボール専門部強化事業について

強化事業の目的：次の4つのステップを1サイクルとし、継続的に長身選手・優秀選手の発掘・育成に努め、将来日本を代表する選手を輩出することを目的とする。

### ステップ1 高校9ブロック長身選手発掘育成合宿(ドリームマッチ推薦選手選考合宿)

- ・各都道府県の1、2年生で長身または優秀な選手2~4名を推薦し、それに若干名の追加推薦選手を含めて実施する。
- ・JVAより各ブロックに1名の派遣指導員に参加頂き、トレーニング理論、講話などにも必要に応じて行ってもらう。
- ・ブロック合宿指導者(JVA派遣指導員を含む)により、推薦選手の順位付け(6位まで)を行う。
- ・以下の数字に従ってステップ2への推薦数を決定する。(24名)

(国体本大会へのブロックからの参加数を基準とする。但し北海道は+1。)

北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
2	3	4	2	2	3	2	2	4

### ステップ2 全日本ジュニアオールスタードリームマッチ(高校選抜候補第一次選考合宿)：2月

- ・以下の枠より男女それぞれ48名の選手を選考し、4チームに分け2日間に渡りリーグ戦を行う。

① ブロック合宿(ステップ1)推薦枠

② 特別推薦枠

全日本ユース・ジュニア選手、ブロック合宿参加選手で特に有望な選手(推薦枠以外)等を推薦。

③ 選手権大会推薦枠

全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)より推薦。

### ステップ3 全国高校バレーボール男女選抜強化合宿(高校選抜候補第二次選考合宿)：3月下旬

- ・8月総体後に行う海外遠征(次のステップ4)を睨み、ドリームマッチ(ステップ2)出場選手から24名を選考し、4泊5日で最終選考合宿を行う。
- ・必要に応じて大学生、企業チーム等との練習試合も行う。

### ステップ4 全国高校バレーボール男女選抜海外遠征：8月

- ・ステップ3で決定した選手12名が総体終了後、数日の合宿を行い海外に遠征し親善試合を行う
- ・遠征先のユニバ代表、国内ユースチャンピオンチームなどと4~5試合を実施する。